

# 会報



vol. 51

2023年12月発行

## 新会長就任あいさつ



澤幡会長

令和5年5月24日付けで茨城県青少年相談員連絡協議会会長に就任致しました澤幡敬智です。各地域の青少年相談員活動を推進する県協議会としての役割を果たせるよう、精一杯努めてまいりますので、皆様方にはご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

さて、SNSに起因するいじめ、児童虐待、ヤングケアラーなど、子どもを取り巻く課題が深刻化しています。茨城県警察のアプリ「いばらきポリス」でも、不審者情報や痴漢被害情報が後を絶ちません。こうした状況の中、相談員の皆様には、通学路等でのあいさつ声かけ活動や、青少年がよく立ち寄る店舗への訪問活動に取り組んでいただいています。

特に店舗訪問は、新型コロナウイルスが蔓延する中にも関わらず、昨年度2,134店舗で実施していただきました。

また、各地区において、体験活動や子育て支援のボランティア、子ども食堂のような居場所づくりなど、青少年が安心・安全に生活できる環境づくりのため、地域の状況に応じた支援活動に取り組んでいただいております。

青少年相談員としての日々の活動は、大変ご苦労が絶えないものと存じますが、引き続き、地域に根ざした活動に取り組んでいただき、青少年の健全育成と非行防止にお力添えを頂きますようお願い申し上げます。

## 第53回茨城県青少年相談員研修大会を開催しました



茨城県福祉部  
山口 部長



県青少年相談員連絡協議会  
澤幡 会長

日 時：令和5年10月27日(金) 13時30分～15時50分

場 所：茨城県庁9階 講堂 参加者：113名

大会内容：表彰式、講演会、大会宣言



県内各地域において青少年の健全育成活動を行う青少年相談員の資質向上と、さらなる活動の促進を目的として開催いたしました。

### 講演会

#### 地域における防犯対策

#### ～子どもを守るために大人にできること～

元警視庁警察官であり子育てアドバイザーでもある幸島美智子先生に、講演いただきました。

子どもを犯罪から守るために大人がしなければならないことについて、警視庁時代の経験を踏まえた具体的な事例を用いてお話いただきました。



## 知事ほう賞（永年活動者）



山 縣 良 江（北茨城市） 佐 藤 等（日立市） 藤 来 好 子（常陸大宮市） 渡 辺 忍（大子町）  
 本 間 桂 子（水戸市） 宮 下 美 枝（水戸市） 佐 藤 英 哉（水戸市） 大 森 ますみ（水戸市）  
 前 田 安 生（水戸市） 杉 山 亘（小美玉市） 沼 田 陽 子（小美玉市） 鈴 木 祐 子（東海村）  
 岩 井 定 夫（神栖市） 松 本 久 男（神栖市） 柳 町 久 克（行方市） 小 堀 和 久（鉾田市）  
 中 根 ひろみ（鉾田市） 方 波 見 保（鉾田市） 戸 島 健 一（鉾田市） 神 成 田 一 男（鉾田市）  
 武 子 雅 樹（取手市） 金 山 和 司（牛久市） 小 倉 正 雄（稲敷市） 東 みさ子（阿見町）  
 若 泉 徳 士（阿見町） 川 口 弘 美（筑西市） 杉 山 宏 美（筑西市）

## 知事ほう賞（退任者）



小 松 嘉 洋（北茨城市） 佐 藤 和 江（水戸市） 堀 田 望（水戸市） 仲 條 ゆう子（那珂市）  
 山 下 ひさ代（那珂市） 山 口 稔（行方市） 山 南 由 佳（つくば市） 塚 本 和 男（つくば市）  
 君 山 美 恵子（かすみがうら市） 西 村 眞 由 美（取手市） 稲 葉 秀 一（取手市） 野 口 桃 子（取手市）  
 小 林 玲 子（取手市） 宮 本 京 子（古河市） 植 竹 トシ子（古河市） 岡 野 當 子（古河市）  
 是 安 明 美（坂東市） 相 田 喜 三 郎（常総市） 横 関 祐 市（常総市） 長 塚 芳 雄（常総市）  
 稲 葉 義 弘（常総市） 宮 田 憲 一（常総市） 坂 野 茂 実（常総市） 林 美 希 子（結城市）  
 稲 葉 義 雄（筑西市） 百 目 鬼 和 代（筑西市） 箱 守 まり子（筑西市）

### 表彰された方々を代表して

この度は、知事ほう賞を頂きまして、誠にありがとうございました。

長きにわたり続けられているのは、先輩方や仲間たちに支えられてきたからだ、心より感謝しております。

青少年を取り巻く環境の変化により、目に見えない部分が多い中、見守り声かけ活動は重要だと思います。

これからも青少年に寄り添う気持ちを大切に、関係各位の皆様方と連携を図りながら尽くしてまいります。

知事ほう賞（永年活動者）受賞 渡辺 忍（大子町）

## 功労者表彰（一般功労者表彰）



本 田 枝美子（北茨城市） 樫 村 道子（日立市） 松 下 恵子（水戸市） 鯉 淵 伸子（水戸市）  
 大 串 猛（那珂市） 山 田 登志子（那珂市） 鈴 木 一 郎（城里町） 照 沼 雅 典（東海村）  
 佐 藤 勉（神栖市） 細 田 峰 彰（神栖市） 田 崎 一 雄（潮来市） 箱 岩 広 幸（潮来市）  
 町 田 恵美子（潮来市） 和 知 伸 一（潮来市） 大 川 隆 雄（潮来市） 風 間 健 造（鉾田市）  
 本 宮 敏 江（つくば市） 小 曾 根 智 恵 美（かすみがうら市） 中 山 喜 昭（取手市） 石 引 加 代 子（龍ヶ崎市）  
 椎 塚 俊 裕（龍ヶ崎市） 小 野 み どり（龍ヶ崎市） 保 科 久 子（牛久市） 高 橋 正 昭（阿見町）  
 高 瀬 恵 則（古河市） 磯 和 夫（古河市） 山 中 將 平（古河市） 楠 田 和 仁（古河市）  
 五 月 女 登（古河市） 荒 井 富 男（古河市） 大 山 正 夫（古河市） 舘 野 茂（古河市）  
 大 谷 悦 弘（古河市） 木 村 道 子（坂東市） 瀧 本 正 典（坂東市） 広 瀬 光 一（常総市）  
 青 嶋 武 巳（常総市） 皆 川 隆 夫（筑西市） 栗 原 敬 子（筑西市） 日 向 一 恵（筑西市）  
 菅 谷 康 博（筑西市） 飯 泉 光 春（筑西市） 内 海 一 弥（八千代町）

## 功労者表彰（県連役員表彰）



山 口 恒 巳（茨城町） 飯 田 進（境 町） 大 部 啓 子（北茨城市） 菊 地 英 敏（高萩市）  
 小 山 まり子（城里町） 田 山 忠（大洗町） 金 塚 茂（潮来市） 井 上 志 津 江（潮来市）  
 小 林 眞 二（石岡市） 佐 々 木 博 子（つくば市） 藤 田 道 子（利根町） 大 野 和 枝（河内町）  
 染 谷 清 一 郎（境 町） 関 英 子（境 町） 山 中 立 摩（下妻市） 大 久 保 ま さ 子（桜川市）  
 藤 代 健 二（神栖市）



# 令和4年度茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク)事業報告

## 事業実績及び成果

青少年相談員の資質の向上と地域における青少年相談員活動の推進を図り、青少年の健全育成と非行防止に資することを目的として、次の事業を実施しました。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、活動に制限が課される中で、事業実施となりました。

## 監査報告

茨城県青少年相談員連絡協議会会則第9条の規定に基づき、令和4年度の事業報告書、収支決算書、その他の付属書類について、令和5年4月24日及び令和5年4月25日に監査した結果、会計事務処理並びに決算内容について、適正であることを認め報告いたします。

監 監

令和5年4月25日  
藤代 健二  
北島 直廣

## 令和4年度事業報告

実施事業名	実施期日	事業の概要
総会の開催	R4.5.31 (火)	・令和3年度事業報告及び収支決算について ・令和4年度運営方針及び事業計画、予算について(会場:茨城県市町村会館)
常任理事会の開催	① R4. 8.26 (金) ② R4.12. 2 (金) ③ R5. 2.10 (金)	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。 ① 研修大会の運営及び功労者表彰等について ② 研修大会の結果及び協議会の運営等について ③ 総会の議案等について
その他の会議	① R4. 4.15 (金) ② R4. 8.26 (金) ③ R4.12. 2 (金)	① 監査 ② 機関紙第50号第1回編集会議 ③ 機関紙第50号第2回編集会議
機関紙の発行	R4.12 (第50号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第52回青少年相談員研修大会	R4.10.31 (月)	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修大会を開催。(会場:県庁9階講堂) ・講演会(動画配信) 講師 下田 太一 氏 「気付けていますか? スマホが変える子ども達の生活」
功労者の表彰	R4.10.31 (月)	功労のあった青少年相談員に対し、知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。 ・知事ほう賞 34名 ・功労者表彰 22名
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長、ブロック選出の常任理事が参加し、相互に情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携強化を図る。
ブロック研修会(研究・協議を含む)の開催	R4.10 ~ R5.2	ブロック研修会を通して、青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進。
地域活動推進(関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間との交流を深め、地域活動の推進を図る。 ・茨城県暴走族対策会議への参加(書面)。 ・社会を明るくする運動への参加(書面)。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等。 ・茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会及び20歳未満喫煙防止街頭キャンペーン
青少年相談員手帳の販売	R4.6	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を販売。
市町村等への補助金交付	R5.3	社会全体で青少年の健全育成と非行防止を推進するため、コンビニエンスストア等の青少年がよく立ち寄る業種の店舗への条例・関係法令遵守の働きかけと、青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動を実施し、社会環境の健全化を図った市町村等に補助金を交付。
環境健全化啓発事業	R4.6 ~ R5.3	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(子ども・若者育成支援強調月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。

## 令和4年度収支決算書

### ■ 一般会計

#### 1 収入の部

単位:円

項目	当初予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会費	1,070,500	1,059,000	△ 11,500	500円×2,118人
2 補助金	1,519,000	1,335,040	△ 183,960	県補助金 事業費補助 300,000円 店舗訪問活動費 1,035,040円
3 青少年相談員手帳販売	192,500	194,040	1,540	青少年相談員手帳販売収入 @440円×441冊
4 雑収入	287	12	△ 275	預金利子
5 繰越金	970,713	970,713	0	前年度繰越額
計	3,753,000	3,558,805	△ 194,195	

#### 2 支出の部

単位:円

項目	予算額	決算額	比較増減額	摘要
1 会議費	330,000	299,730	△ 30,270	
総会費	150,000	161,910	11,910	会場使用料、資料印刷代等
常任理事会費	150,000	115,270	△ 34,730	会場使用料等
その他会議費	30,000	22,550	△ 7,450	三役会、監査等の役員旅費等
2 事業費	2,967,000	1,868,543	△ 1,098,457	
機関紙発行費	120,000	93,104	△ 26,896	2,700部×1回(50号)
研修大会費	650,500	181,200	△ 469,300	看板作成、講演動画制作、大会プログラム印刷等
功労者表彰費	60,000	23,760	△ 36,240	感謝状等
ブロック研修会費	645,000	283,639	△ 361,361	8ブロック×@80,000、振込手数料 ※返還有
地域活動推進費	80,000	52,920	△ 27,080	関係機関訪問旅費等
青少年相談員手帳発行費	192,500	198,880	6,380	相談員手帳452冊作成(441冊+予備等11冊)
補助費(店舗等訪問業務補助金)	1,219,000	1,035,040	△ 183,960	「協力する店」店舗訪問及びインターネット安全利用普及啓発業務補助
3 負担金	6,000	5,220	△ 780	(公社)茨城県青少年育成協会年会費
4 事務費	100,000	97,520	△ 2,480	通信運搬費、補助金振込手数料等
5 積立金	50,000	50,000	0	55周年記念誌発行資金積立
6 予備費	300,000	126,242	△ 173,758	青少年相談員普及啓発チラシ作成
計	3,753,000	2,447,255	△ 1,305,745	

#### 3 収入-支出

単位:円

	予算額	決算額	比較増減額	摘要
収入総額	3,753,000	3,558,805	△ 194,195	
支出総額	3,753,000	2,447,255	△ 1,305,745	
差引残高	0	1,111,550	1,111,550	次年度予算へ繰越

### ■ 特別会計 記念誌積立金

単位:円

科目	前年度繰越金	令和4年度中		令和4年度末現在高	付記
		増	減		
積立金	50,000	50,000	0	100,000	
雑収入	0	1	0	1	
計	50,000	50,001	0	100,001	

# 令和5年度 茨城県青少年相談員連絡協議会(いばらき子ども見守りネットワーク) 運営方針及び事業計画

## 運営方針

現在、私たちは長期化する新型コロナウイルスとの闘いや激動する国際情勢など、予測困難な「非連続の時代」の只中にあります。また、インターネットを介した事件やいじめ、児童虐待の増加など、青少年をめぐる様々な問題が深刻化しています。

こうした中、いばらき青少年・若者応援プランの目標である「活力があり、青少年・若者が日本一幸せな県」を実現するためには、家庭や学校、地域そして警察等関係機関・団体が連携・協働して取組む必要があります。そこで、当会としては、各種研修会等を実施し、青少年相談員の資質向上を図るほか、青少年相談員活動の一層の活性化を図られるよう各地区協議会を支援するなど、青少年に及んでいる様々な問題に対応していきます。

また、「青少年健全育成に協力する店」登録等活動や青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動など、青少年を取り巻く社会環境の健全化に、より一層取り組んでまいります。

## 重点事業項目

1. 青少年相談員研修大会の開催
2. ブロック研修会の開催  
(研究・協議を含む)
3. 環境健全化啓発活動の推進  
(「青少年の健全育成に協力する店」登録等活動、インターネット安全利用に関する意識啓発活動の推進 等)
4. 関係機関・団体等の事業への協力及び連携促進
5. 青少年相談員の新たな取り組みへの理解・協力

## 事業計画

実施事業名	実施期日	事業の概要
総会の開催	R5.5.24	・令和4年度事業報告及び収支決算について ・令和5年度運営方針及び事業計画、予算について
常任理事会の開催	随時	事業の円滑な実施を図るため、事業の執行について検討。
その他の会議	① R5.4 ② 随時	① 監査（神栖市会場、八千代町会場） ② 編集会議の開催
機関紙の発行	R5.12(第51号)	県連及び各地区の事業内容の紹介などを通し、青少年相談員相互の情報交換を図る。
第53回青少年相談員研修大会	R5.10.27	青少年相談員の活動の充実及び資質向上を図るため、研修大会を開催(会場:県庁9階講堂)。
功労者の表彰	R5.10.27	功労のあった青少年相談員に対し、県知事、県連会長の感謝状を贈呈(研修大会時に実施)。
ブロック会議	随時	幹事地区が開催するブロック会議にブロック担当の副会長やブロック選出の常任理事が参加し、情報交換や意見交換をすることにより、ブロック内の連携を強化。
ブロック研修会の開催	R5.10～R6.3	ブロック研修会を通して、青少年相談員の資質の向上を図り、ブロック内の連携を深め、広域的な青少年問題に対応できる体制づくりを推進。
地域活動推進 (関係機関・団体との協力・連携)	随時	・県連役員が、各地域や関係機関・団体等を訪問し連携を深めるとともに、各ブロック市町村間の交流を深め、地域活動を推進。 ・茨城県暴走族対策会議への参加。 ・社会を明るくする運動への参加。 ・茨城県いじめ問題対策連絡協議会への参加。 ・道徳教育推進委員会への参加。 ・(公社)茨城県青少年育成協会が実施する事業等への参加。 ・茨城県20歳未満喫煙防止対策協議会及び20歳未満喫煙防止街頭キャンペーンへの参加。
地域活動推進 (子ども食堂新規開設活動への支援)	R5.6～R6.3	地域の子どもの居場所作りを通して、青少年の健全育成を推進する青少年相談員の子ども食堂開設活動を支援。
青少年相談員手帳の販売	R5.6	「青少年相談員の手引き」の携帯版である青少年相談員手帳を印刷・販売。
市町村等への補助金交付	R6.3	コンビニエンスストア等の青少年がよく立ち寄る業種の店舗への条例・関係法令遵守の働きかけと、青少年とその保護者へのインターネット安全利用に関する意識啓発活動を実施し、社会環境の健全化を図った市町村等に補助金を交付。
研修動画の配信	R5.6～R6.3	県内各地の青少年相談員に研修機会を提供するため、作成した研修動画を動画共有サービスにて配信。 ○テーマ:「現代の子どもたちを理解していくために」 ○講師:茨城大学人文社会科学部教授 正保春彦氏
環境健全化啓発事業	通年	7月(青少年の非行・被害防止全国強調月間)及び11月(子ども・若者育成支援強調月間)の期間を中心として、県内において青少年を取り巻く環境健全化に対する県民の意識啓発を図るため、環境健全化活動及び「茨城県青少年の健全育成等に関する条例」等の普及啓発活動を実施し、青少年の健全育成を推進。
新たな取り組みの推進	通年	子育て支援のボランティア、里親制度、インターネット安全利用の普及啓発活動への理解と協力。

# 青少年相談員の活動紹介



## 第3ブロック

### ひたちなか地区

見守りを通して青少年を育てよう

ひたちなか市青少年相談員連絡協議会 会長 川又 晴彦

## 第4ブロック

### 鉾田地区

青少年の健全育成のために

鉾田市青少年相談員連絡協議会 会長 須加野 栄

ひたちなか市では、令和5年度現在59名の青少年相談員及び2名の特別青少年相談員が本協議会に在籍しています。市内8中学校区ごとに、各班4名から6名で班を構成し、13班集体で活動をしています。

活動内容は、月1回当該学区内の街頭指導、小・中・高校に出向いて情報交換を行う学校訪問、最寄りの駅（JR勝田駅・JR佐和駅・海浜鉄道那珂湊駅）での声かけや見守り活動、夏を中心に行われる地域の祭礼やイベント実施時に巡視を行う特別街頭指導を実施しています。

また、青少年相談員の研修体制としては、相談員研修会や視察研修会を年1回実施しています。令和5年度は、架空の問題事例（2例）を基に、問題の背景や支援策についての討議・協議をグループ形式で行い、最後には各グループ（5グループ）が協議内容の発表を行い、参加者全体で相談対応力のスキルアップを図りました。視察研修は、対極的な施設で



学校訪問



研修

ある茨城県警察学校と水戸刑務所を訪問しました。

さらに、その他の活動としては、市及び青少年関連団体主催の各種行事への参加や、青少年の健全育成に協力する登録店舗への訪問や新規店舗の登録依頼を行っています。過去には、本市唯一の義務教育学校「美乃浜学園」開校に伴い、海浜鉄道に同乗して児童生徒の下校時の見守り活動を行いました。青少年を取り巻く環境の変化は、このところ著しいものがあります。我々青少年相談員としても、社会の変化に応じた対応が必要であると痛感しているところです。

鉾田市では、市内各地域から推薦・選出された33名の青少年相談員がおり、市内を6班に分けて活動しております。コロナ禍で活動が難しい時期もありました。が、本年度実施している活動をいくつかご紹介いたします。

一つ目は、「あいさつ・声かけ運動」の実施です。青少年育成鉾田市民会議、学校、関係団体と連携し、新鉾田駅での街頭キャンペーンや小学校と中学校の「小中連携あいさつ運動」を通じて、子どもたちの元気な笑顔を見ることができ、以前の生活に少しずつ戻ってきているように感じております。

二つ目は、鉾神社例大祭での巡視活動の実施です。鉾田警察署、鉾田地区防犯連絡員、セイフティ・マイタウン・チーム等と連携し、歩行者天国の大通りや死角となる



あいさつ・声かけ運動の様子

路地を中心に巡視活動を行います。三つ目に、「青少年の健全育成に協力する店」の登録活動です。11月を中心に市内220店舗に訪問し、地域の青少年たちの見守りへの協力をお願いしています。

また、それ以外の活動としては、青少年を取り巻く薬物乱用問題に対する相談員の資質向上を図るため、千葉県成田市にある東京税関麻薬探知犬訓練センターにて視察研修会を実施しております。また、協力活動として、「ダメゼッタイ。」普及運動として、市内店舗にて薬物乱用防止のキャンペーン運動を実施しております。

今後とも地域、学校、家庭、関係諸団体の皆様と連携を図りながら、青少年の健全育成のために力を注いでまいります。たいと考えております。



視察研修の様子

第6  
ブロック

阿見地区

青少年の健全育成のために私たちができること

阿見町青少年相談員連絡協議会 会長 若泉 徳士

阿見町青少年相談員連絡協議会は、町内にある中学校をブロックとし、各相談員は自身が在住するブロックの代表として、日々活動に取り組んでいます。



さわやかフェアでの活動の様子

- 現在、取り組んでいる「阿見町青少年相談員連絡協議会」の活動について紹介します。
- ①青パトによる地域巡回パトロール  
月に一回、ブロック毎に、スーパール・コンビニ・公園等で青パトによる地域巡回パトロールを行っています。
- また、青パトの講習を受講し、青パトを運転できるパトロール実施者証を所持しています。
- 夏休み・冬休み・春休みは、地域巡回パトロールとは別に、自主巡回パトロールを行っています。
- ②まい・あみ・まつりでの会場内の巡回  
阿見町のイベントである「まい・あみ・まつり」で、会場内の巡回を行っています。
- ③さわやかフェアの広報・啓発活動  
阿見町のイベントである「さわやかフェア」で、専用ブースを設け、青少年相談員を理解していただくための広報・啓発活動を行っています。
- ④あいさつ・声かけ運動  
町内の小学校・中学校で年に2回、町内の諸団体と連携し、児童・生徒の登校時に「あいさつ・声かけ運動」を行っています。
- ⑤全体定例会議  
全体会議を定期的に行い、様々な案件を協議しています。

- ⑥牛久地区との合同パトロール  
一年交替で、牛久地区・阿見地区が当番になり、合同で当番地区内の店舗等の巡回を行っています。
- 巡回後は出席者全員で、意見交換会を行っています。
- ⑦視察研修・合同研修  
青少年に関連する機関等への視察研修や講師を招いての合同研修会を行っています。合同研修会の際は、町内の諸団体にも出席を呼びかけ、有意義な研修になるよう努力しています。
- ⑧町内中学校との情報交換会  
町内の中学校で、民生委員と合同で、中学校との情報交換の会合を行い、情報交換をしています。
- ⑨町花壇審査審査員  
町内の各子ども会花壇を審査し、町長賞・教育長賞・青少年相談員連絡協議会会長賞・子ども会育成連絡会会長賞を設け、優秀な子ども会へ表彰を行っています。
- ※最後に  
阿見町は、住宅地造成で、児童・生徒数が増加している地域もあれば、高齢者が多く、子育て世代が少ない地域もあります。特に人口が増加している地域への対応は重要な案件です。
- 青少年育成を担う団体の一員として、青少年健全育成のために一致団結し、今後もしっかり取り組んでいきます。



牛久地区との合同パトロールの様子

第8  
ブロック

結城地区

資質の向上を目指して

結城市青少年相談員連絡協議会 会長 古川 久司

結城市では、小中高等学校の教員、中学校PTA、地域から選出された57名の青少年相談員が、青少年の健全育成、非行・被害防止に向けた活動を行っております。

主な活動として、街頭巡回活動、特別巡回活動、各部会の活動となっております。

今年度の特色ある活動として、「小山市合同巡回」と「全体研修会」が挙げられます。

一つ目の小山市合同巡回ですが、結城市の隣接市である栃木県小山市の青少年指導員の方々と合同で、小山の花火大会に合わせて巡回を行いました。花火大会は多くの人々が賑わっており、子ども達の姿をたくさん見かけるなど普段とは違う巡回を行うことができ、新たな気づきがありました。また情報交換もできたため、とても有意義な活動となりました。



小山市合同巡回の様子

二つ目の全体研修会ですが、市内の小中学校の代表の先生に児童生徒の生活実態について、事例を用いながらの発表と県西県民センター青少年指導員の小島先生を講師としてお招きし、「青少年の健全育成のために」というテーマで講演していただきました。青少年を取り巻く状況を理解し、相談員の質の向上につながった活動だと感じています。

毎年様々な事業を行う中で、事業の見直しを継続的にを行いながら、より良い活動を行っていきたく思います。また、結城市青少年相談員として、子ども達の健やかな成長をサポートできるように、事業を継続して取り組んで参ります。



全体研修会の様子

# インフォメーション

子供の見守り機能も充実！

## いばらきポリス

皆様の安全安心を守る！  
オールインワンのアプリ

犯罪 不審者 交通事故

ニセ電話詐欺

の発生情報をマップ上で公開します。

他の機能

- パトロール機能
- ちかん撃退
- 防犯ブザー
- メール・SNSと連動



◀ios 端末  
(iPhone など)



◀Android 端末



### ※※新役員紹介※※

役職	氏名	フック	市町村	担当委員	役職	氏名	フック	市町村	担当委員
会長	澤 幡 敬 智	1	日 立 市	総務・編集	常任理事	高 野 典 昭	5	土 浦 市	編集
副会長	大 森 留里子	2	常陸大宮市	編集	//	宮 田 道 子	5	かすみがうら市	総務
//	佐 藤 百合子	3	東 海 村	総務	//	葉 梨 輝 夫	6	美 浦 村	編集
//	飯 塚 壽 子	6	牛 久 市	編集	//	田 村 由美子	6	阿 見 町	総務
//	古 川 久 司	8	結 城 市	総務	//	五 月 女 安 彦	7	常 総 市	編集
常任理事	神 白 芳 伸	1	北 茨 城 市	編集	//	黒 澤 重 美	7	常 総 市	総務
//	杉 本 優 子	1	高 萩 市	総務	//	保 坂 悦 子	8	筑 西 市	編集
//	石 井 勝 三	2	常陸太田市	編集	//	北 島 直 廣	8	八 千 代 町	総務
//	豊 田 洋 子	2	常陸太田市	総務	監 事	坂 本 栄	1	高 萩 市	-
//	遠 藤 たか子	3	ひたちなか市	編集	//	結 城 英 則	5	つ く ば 市	-
//	木 村 雅 道	3	茨 城 町	総務	顧 問	葉 梨 衛 夫		小 堀 和 久	
//	須加野 栄	4	鉾 田 市	編集		山 岡 恒 夫		山 口 恒 巳	
//	米 川 利 恵	4	鉾 田 市	総務					

### おめでとうございます！ 令和5年度茨城県表彰受賞者

#### 茨城町青少年相談員 園部 芳 一 様

功績概要：多年にわたり、街頭における青少年への声かけ・相談活動に取り組み、青少年の健全育成と非行防止に貢献



#### ご意見・ご感想をお待ちしております。

会報に関することや青少年相談員に関すること等のご意見・ご感想をお待ちしております。

はがき・封書・FAX・Eメール等でお寄せください。

#### あ て 先

〒310-8555 (住所記載不要)  
茨城県青少年相談員連絡協議会  
(いばらき子ども見守りネットワーク) 事務局  
(茨城県青少年家庭課内)  
TEL.029-301-2183  
FAX.029-301-2189  
E-mail:seishonen@pref.ibaraki.lg.jp

〔編集後記〕  
令和5年10月27日に茨城県庁の講堂において第53回茨城県青少年相談員研修大会が開催されました。  
表彰式では、新型コロナウイルス感染症から類感染症へと移行したこともあり、多くの受賞者の方々にご出席いただき、山口部長から知事ほう賞が、澤幡会長から功労者表彰が一人ひとりに授与されました。受賞者を代表して大子町の渡辺忍さんからは、立派な謝辞をいただきました。  
講演会では、元警視庁警察官の幸島美智子先生より「地域における防犯対策〜子どもを守るために大人にできること〜」と題して地域の防犯に対する心構えをご教示いただきました。  
研修大会の最後には、大森副会長より大会宣言が読み上げられ、本会の取り組みに対する決意を出席者全員で改めて確認しました。

(石井 勝三)

